



日刊 日三十月二

平驛の北裏口設置

遠からず實現せん

鐵道建設局の實地調査

平市から鐵道省に請願を重ね、建設局から係員出張地調査を行ひ鐵道以北にある市内人口及び隣接好開村その他を合せて五千人に達するもの、驛せれば乗車が出来ない平驛の裏口利用を敷えられるなど、所在に對し物見ヶ岡稻荷神社下の北口に跨線橋を設ける出札並びに改札所を置かれたいとの要望は主務省でも漸くその要を認めたらしく去る四日

木炭の移出統制

濱通り業者懇談會

昨日平市に四十余名を會し

木炭の需給を緩和せんとする濱通り同業移出業者の第一回懇談會は昨日午後一時から平市の同組合事務所にて開かれた出席者は四十余名で縣の通牒による右の統制は仕向先を消費府縣に限り個人取引を改めて個人取引となし此の荷受團體の決定せるもの、東京府(新炭卸商業組合、府信販販聯)埼玉縣(木炭配給統制組合、鐵道省東鐵局大宮購買支部)千葉縣(縣山林會)宮城縣(縣販聯)山形縣(縣販聯、商業組合)で神奈川、栃木、茨城、新潟山形は取引團體未定而して東京新炭卸商業組合宛に移出す

大内氏が海外協會常任理事

學務部に一室

本縣海外協會では去る九日役員會を開き縣海外進出に對

▲上京代表石城郡野米彌、相馬志賀嘉、吉(以上)

平署長の油販入て

發表されたる異動

平署長の後任は渡部警視

既報平署長柴田鶴作氏の石油販入りによる警察官の異動は去る十二日發表され、平署長の後任は傳へられてきた如く工場課長渡部勇吉氏が警視に昇進することになったが工場課長へは濱通り出身の福島署長山崎延氏が事務官となつてこれに移り福島署長は民間入りで噂された郡山署長山崎秋(石城郡出身)氏の後へ而して郡山署長には保安課長の片寄明男(石城郡出身)氏が榮轉する向は平署長に對して司法主任の本田泉警部補が警察課の次席に榮轉したが柴田氏は明後十五日平驛出發で赴任の由である

自治功勞者

孝女を表彰

石城郡赤井村では去る十一日、石城郡赤井村では去る十一日の紀元二千六百年を迎へたに際して、自治功勞者として、孝女を表彰した。石城郡赤井村では去る十一日の紀元二千六百年を迎へたに際して、自治功勞者として、孝女を表彰した。

思ひまゝに

出る (60) 大森 勇

白衣の勇士を乗せた自動車は、通る。兩側の出迎人は丁寧に、頭を下げる。中學生の一團も丁寧に頭を下げる。

興亞の礎

石城出身勇士

石城郡出身、立花部隊に屬し中支戦線に於て名譽の戦死をなす、同君は熊蔵(三)母ますさん(三)の長男で出征前まで東京の工場に勤めていた、一家は兩親と弟茂夫君(二)の三人暮らしで、行商をしてゐる。

幼き胸にも静岡

大火へ厚い同情

石城郡四倉町小學校五の三組瀬谷俊子さん外十三名は静岡大火に遭つた児童に同情して、毎日一錢づつを貯め合つて出来た一圓十錢を見舞したが此の児童達左記は毎日曜に午前四時半の早起で鎮守諏訪神社の清掃を行ひ皇軍の武運長久祈願をつけてゐるので町内の賞めものとなつてゐる。

水産加工四倉工場

場静岡へ義金

四倉町の石城水産加工工場は、生活刷新會大森せいさん外二十七名は五圓六十錢を集めて、静岡へ義金を送つた。

木炭同業組合

聯合會總會

木炭同業組合聯合會では、十四日福島市に定期總會を開き、豫決算その他を附議の管であるが濱通りから左記代表員が出席する。

縣警察部で武道講習

縣警察部では、縣下四ヶ市の警察署に於て武道の講習並びに段級試験を施行するが平署に開催される日割は左記の如くである。

無銭飲食ゴドゴ

平市中盤字馬場生れ常時住所不定矢吹千代吉(三)は、九月廿九日午後八時頃市内田町榮ちゃん方で一圓半の無銭飲食をしたが、本月一日午後九時同家雇人酒井春雄のジャンパー及び黒皮靴を盗んで平署に檢舉さる。

御供の既製品

高島屋洋行

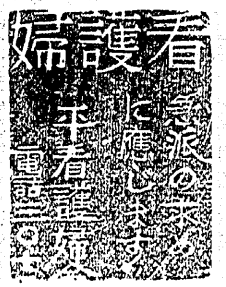
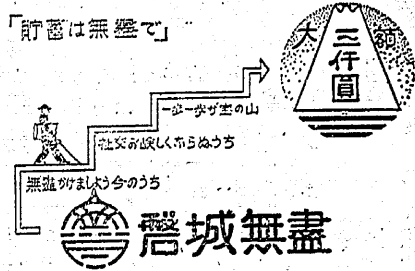
産業方面

貧乏村から模範村になる

(3) 無言實踐の努力
 家指導されて
 農用人参のは古い歴史と傳
 統をもつだけにわけなく解決
 したが弱弱栽培には村人だち
 から文句が出た、それは十年
 前貯蔵法の欠陥から病虫が續
 出し大不作を來たして以來中
 絶してたからである、

しかし吉池技術員や小平和
 重、緑川正徳等と云ふ人々
 の奔走で縣の指定地となり
 各部落に完全な貯蔵室を建
 てまた原料薯の購入にあた
 つては千五百圓の代金一萬
 圓を緑川助役が投げ出し第
 一年目は僅かに四人が三反
 歩を作つてゐるに過ぎなか
 つたのが今日では年産にし
 て切千七千貫、生薯二萬貫
 合計價格七萬圓に達し生産
 従業者も百三十人餘に増し
 耕作面積八町歩から年産土
 根の五、六年生二千貫(四萬
 六千圓)四年生六百貫(一萬
 四圓)計五萬六千圓を産する
 農用人参とともに輸出業に
 重要な役割を果してゐる
 また化學肥料の代用も當時
 から計画的に實行されてゐる
 加里の代用として草木灰、糞
 殺あるひは夏秋露の桑條から
 堆肥にいたるまで各戸にもれ
 なく自給肥料の製造を勵行し
 この實行にあつては特に、
 婦人共同作業班を組織し春
 秋二回にわたり屋外共同作業
 を實施し好成績をあげ現在で
 は應召農家を中心に各農實組
 合単位で行ひ、また木炭飢饉
 に備へて村の産組利用部で處
 置に窮してゐる概穀を應用し

て炭團を作り登登保温用に使
用してゐる、



大小の御宴會にホール
 御家族の御同伴に御座敷
 いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂
 平市四丁目(電話一三三番)

肋膜炎、支那關節神經痛、肺炎、ロイマチス
 ……扁桃腺、中耳炎、骨膜炎、腰痛、痔疾に…

生公華
 九十五號
 二四二番
 四

…濕布で名藥
 山野邊藥局

附屬産院 新設
 妊産婦入院隨意
 産科 婦人科
木村病院
 平市新川町
 電話一六四番

病室増築、手術室完備
 産科 醫學博士
 婦人科 **五十嵐雄二**
 平市新川町(電話三六九番)

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
 電話六六九番
 入院應需(自炊の便あり)

便利で 日下家政婦會の
 經濟な 派出婦を御利用下さい
 身元確かで品行方正ですから
 何を任せしてもご安心です
 平市一丁目三十一番地(電話七三三番)
 會長 日下すい子
 會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や
 を御誘ひ致します)(編物をお教授致します)

カバと洋品類

 眞砂屋 (前驛、市平、り通道新)
 (話電五) 屋砂眞

御婚禮着付
 和洋結髪
 パーマネント・ウエーブ
 何卒御用命の程を
手塚美容院
 平市新田町
 (徒弟入用)

診療科目
 一、齒科 一般
 保存科、補綴科、機械架工科、
 齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
 一、口腔外科
 一、レントゲン科
 平市田町(松月堂向ヒ)
中野齒科醫院
 院長 日本齒科醫學士 中野慈次
 主任 大醫學士 鹽谷伍郎
 主任 佐藤重義
 電話五〇九番

國民精神總動員
 日本國民必見の書……
 内閣情報部發行
寫眞週報
 1部10セ
 お取次致して居ります
 西村屋藥局 電話三

和洋銅鐵、金物問屋
 一般印物もお引受致します
新しいわき新聞社
店商屋釜
 九九・九電